

# 令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・  
指定都市名

福岡県

地域名

久留米市・明星中学校区

人権課題

子供、同和問題、性的指向・性自認、障がいのある人等

目標・人権教育  
のねらい

・部落差別をはじめとするあらゆる差別について、正しい知識を身につけ、人権問題を自分事として捉え、仲間とともに行動することができる児童生徒の育成。

各組織の動き・役割等

人権教育総合推進会議

→明星中校区の人権のまちづくり推進への協議

- 福岡県教育委員会
- 久留米市教育委員会
- 各小学校区人権啓発推進協議会
- 各小・中学校PTA
- 学校運営協議会

人権教育総合推進会議

→小中9年間の体系的な教育についての協議

→授業研究や研修会の計画・実施

久留米市立明星中学校：指導計画に則り、同和問題や性的指向・性自認について「人権のつどい」や講演会等を通じて学習した。

久留米市立東国分小学校：指導計画に則り、同和問題や障害者差別について「人権のつどい」や教育集会所見学等を通じて学習した。

久留米市立高良内小学校：指導計画に則り、障害者差別について「人権のつどい」や体験活動等を通じて学習した。

校種間連携の  
概要

・小・中学校の連携を図るため、小中連絡会を実施し、子供の情報を丁寧に共有した。また、校区プランの部会ごとに授業公開・授業研究を行った。結果、子どもたちの「中1ギャップ」を軽減することができ、小・中学校9年間を見通した学力保障に力を入れることができた。

地域・関係機関  
との連携の概要

・各小・中学校と各小学校区の人権啓発推進協議会で構成された人権教育総合推進会議において、人権教育の進んだまちづくりの充実について協議を行った。明星中校区で取り組んでいる「人権のつどい」では、地域への大きな啓発とともに子供の学びに繋がった。

事業成果

〈評価指標に基づく変容〉

- ・知識的側面：人権を大切にする社会をつくるための具体的な取組について理解を深めることができた。
- ・価値・態度的側面：周りの仲間に関する項目の数値が大きく上昇し、成果が見られた。
- ・技能的側面：仲間に寄り添い、ともに考えることができる生徒の育成に繋がった。